

第 16回プロテオーム医療創薬研究会

実施日	平成22年2月19日
場所	横浜市立大学 福浦キャンパス D2講義室
来場者	20名
内容	<p>桂勲先生 遺伝学研究所名誉教授 によるセミナー セミナー題名：『線虫<i>C.elegans</i> のflr 遺伝子群の働き－腸における行動・感覚・成長・細菌耐性の制御』</p> <p>腸は、消化や栄養吸収を行うだけでなく、摂取した食物を識別し、神経系との間で信号を授受し、体全体におよぶ様々な制御を行うが、その機構には未知の部分が多い。線虫 <i>C. elegans</i> のフッ素イオン耐性 (r) 遺伝子群は、腸において行動・感覚・成長・細菌耐性などを制御する相反的な 2 つの調節系を構成する。その 1 つは、腸細胞内で働くイオンチャンネルと C 末端に疎水性ドメインをもつプロテイン・キナーゼの系、もう 1 つは、神経で発現し腸に働く糖タンパク質ホルモンとその下流の信号伝達系である。この制御系は、腸機能や糖タンパク質ホルモンの進化的な起源を考察する上で興味あるものと思われる。</p>